|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 2022第1,2,3 RUTC答え24(50)(社)世界福音化伝道協会　www.wedarak.net | | |
| 2022年12月16日～ 17日週間祈りカード　第25次世界産業人大会\_主題:残りの未来を準備しなさい(使2:17-18) | | |
| △１講  霊的世界の地域司令官（使2:9-11、17-18、41-42) | △２講  霊的世界のいやしの者（使2:17-18） | △３講  霊的世界の見張り人（使2:41-47） |
| イエスがオリーブ山で弟子たちと重職者に「残りの未来を準備しなさい」とみことばを与えられた。   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | 信仰の障壁① | | | | | わざわい  -強大国の力  (神秘的偶像) | 3団体の力  (宇宙の力) | 憑依-占術、  産業の力  (文化掌握) | 暗やみ文化  -産業の力  (次世代掌握) |   △三位一体→信仰→霊的世界の地域司令官←軍勢  △みことば-私の契約  1.幕屋、神殿、教会-三つの祭り、20戦略、RT、7大旅程、24・25・00  2.3・9・3 　　　　　　　3.プラットフォーム  □序論\_準備すること  1.幕屋、三つの祭り(荒野)を見つけ出して状況にだまされてはならない  2.カルバリの丘、オリーブ山、マルコの屋上の間-礼拝する幕屋、神殿、教会が答え。タラッパン、チームの働き、地教会をするとき、伝道だけを目標に  1)カルバリの丘で結論が出た人は始まり、過程が正確  2)ミッションをオリーブ山で  3)マルコの屋上の間で3・9・3の力が働き  3.みことばの深い時間  1)40日(使1:3)の間に神様の力が臨むすべての条件の門が開く  2)集中(10日)-使2:1-4 10日間集中したのがマルコの屋上の間  3)主日(使2:42) -みことばと祈りが生きて私に働き  4)毎日(使2:46-47) -私の産業へとこの働きが臨む  5) 24・25・00 -このときから、祈りがつながって祝福の答えを味わい始める  □本論\_来る答え  1.残りの者-御座の力  1)使2:9-11残りの者に御座の力、神の国、時空超越の力が臨む  2)使2:17-18彼らに未来を知らせ  3)使2:41-42彼らを通して3000弟子が起きる  2.巡礼者-神の国  1)使13:1-4、16:6-10、19:1-7神様はあらかじめ答え  2)土台-道しるべ-巡礼者の道に土台は道しるべ  3)未来(使19:21,23:11,27:24) -「ローマも見なければならない」と明らかに知らせ  3.征服者-時空超越  1)上のこと-御座を先に征服  2)御座の力を味わえば神の国が成り立つ  3)ロマ16:25-27隠されたことと隠しておかれた未来が見え始め  主の使い、御使い、天の軍勢が派遣される  □結論-みことば24 -祈り24以前にみことば24。みことば24の中に多くのことが含まれる  1.私の契約- All CVDIP　 2.メッセージ-力　　3.霊的呼吸-みことば  創1:1-3創造の光　イザ60:1-2回復の光、栄光の光  ヨハ1:11-12、マタ5:13-16、Iペテ2:9 | 霊的世界のいやしの者-今から平安に神様から与えられる力を実際に回復しなければならない。  □序論\_私がいやされる三つ-祈りは霊的呼吸(神様と疎通、私と疎通)  △平安に、ゆっくり呼吸して祈りなさい。すると、からだ、考え、心、脳、霊を生かすようになる。祈りをのがすので霊的状態をのがす。  1.預言の幸せを味わう祈り-みことば成就  1)三位一体の神様が私とともにおられること(ヨハ4:24)  2)御座の祝福(使1:3)  3)神様の神殿という祝福(Iコリ3:16) -時代を変えること  2.幻の幸せを味わう祈り  1)40日間説明　2)10日間味わう　3)使2:42礼拝のときに味わう  4)使2:46-47毎日味わう　5) 24・25・00味わう  創1:27私のいのち、2:7私のたましい、2:18私の現場と生活の中に  3.未来の幸せを味わう祈り-夢を見る  1)マタ24:14福音は全世界に宣べ伝えられて、すべての国民にあかしされ、それから、終わりの日が来る  2)復活メッセージ-天と地のいっさいの権威をもってあなたといつもともに、あらゆる国の人々、すべての造られた者に行きなさい。  3)最後の講壇　　4)使1:11再臨  □本論\_霊的DNAが変わって信仰の障壁②から抜け出す。信じれば良い。   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 信仰の障壁② | | | | 3団体、シャーマンに負ける。  気功運動、呪術、定刻瞑想が掌握 | 教会が消滅する  わざわい | 教会がやっと悟ったことは、肉、世の中、現実的なこと |   1.当然-過去いやし  1)まことの答えが来る　　2)サタンの12戦略に捕えられていること  3)過去のいやしができなければ障害物となる  2.必然-今日いやし  1)私が-神様の座(サタンの作品) 　2)私の考え、思想-神様の座  3)マタ16:16あなたは、生ける神の御子キリストです  Ⅱコリ5:17再創造/ガラ2:20私の水準ではない、私の中にキリストが  3.絶対-未来いやし  1)エデン→再臨の時まで続くその問題を終わらせること  2)霊的問題時代　　3)精神病時代  □結論  1.みなさんは奥義伝達者、「いやし」が答えだ  2.福音を持った者は誰でもいやしの者「ディック・ヒリス」  3.この祝福が私の24幸せ(力)という結論が出なければならない  RTに伝えられること/みことば、祈りの全体の流れを見て乗りなさい  2030～2080を準備する時  1.ローマに行く道(会堂) 　2.方法はただ聖霊　　3.内容は神の国  △みことばと祈りの幸せな未来を味わう決断ができるべき。福音を持ったとすれば、神様から与えられたことで幸せで力を受けるべき。それが祈りで、いやしだ。1講は神様のみことばは天命であるが、それが私に臨むべき、2講は祈りであるが、霊的世界をいやすことだ。 | 24力、平安、幸せを神様が与えようとされる(25、00なるとき可能)  -一日に一度で十分  -霊的世界の司令官(軍勢を送られる)  -霊的世界いやしの者(24祈りで、みことばで味わうこと)  -霊的世界の見張り人(多くの人のいのちを守ること)   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | 信仰の障壁③ | | | | | サタン12戦略  霊界の疎通  霊的統合運動 | 信仰で可能  1.イザ62:6-12昼も夜も、旗  2.エゼ3:16-20伝達する見張り人  3.ヨハ1:11光として来られた  イエス様  Iペテ2:9この光の伝達者 | 信仰のアンテナをたてなさい  1.やぐら  2.灯台(光)  3.救い(旗) |   □序論\_確信  1.絶対背景-本来あって、常にあること  △五旬節は以前からあったが、続いてある。これをのがすので、霊的力と実際の答えがない  1)三位一体の神様  2)幕屋、三つの祭り-教会中心にあらゆる事を解けという理由  3)御座の祝福-やぐらを作りなさいという理由  4)復活メッセージ　　5) 3･9･3  2.絶対内容  1)光  2)創1:1-3創造の光、イザ60:1-2回復の光、ヨハ1:11キリストが光として  3)創1:27私たちのいのちの中に、創2:7たましいの中に、創2:18生活の中に来られたこと  3.絶対答え  1)暗やみが追い出される　2)暗やみが縛り上がり  3)光を放てば踏み砕かれる  △祈ればその影響が世界へ行く。  □本論\_答え  1.すべてが御座化されるように祈る見張り人-再創造の働き  1)カルバリの丘　2)オリーブ山　3)マルコの屋上の間成就  私を御座化する見張り人-このときから光が出て行く。祈りですべてをみなすることができる。  2.産業が教会化される見張り人-神の国が臨む働き  1)使16:15ルデヤ　2)使17:6ヤソン　3)使18:1-4プリスカ夫婦  4)ピレ1:1-25ピレモン　5)ロマ16:23ガイオ  教会を御座化させる見張り人  3.教会、産業が世界化される見張り人-時空超越の答え、世界福音化可能  1)使19:21パウロを呼ばれた理由　2)使23:11法が止めても  3)使27:24危機も関係ない。  世界御座化-祈り、みことば、霊的世界へ可能だ。これが作品になる日、働きが起こる。  □結論\_空前絶後の答え  1.契約(刻印) -編集　2.祈り(味わう) -設計　3.作品(産業化)-デザイン  △これを祈りでずっと味わえば237、5000種族に行くようになる。  「未来確定」 (使19:21)  1.集中(祈り) - 40日、五旬節、主日、毎日、三安息日、3か月、2年  2.確定したことを味わう(あらかじめ見ること) -ターニングポイントから見つけるべき(使13:1、16:6-10、19:1-7)  3.旅程(目標-ローマ) |
| 2022第1,2,3 RUTC答え24(51)(社)世界福音化伝道協会　www.wedarak.net | | |
| 2022年12月18日　週間祈りカード | | |
| △区域メッセージ  黙想時代と私の24(詩19:14, ピリ4:6-7) | △聖日1部礼拝  目標を知る今日の確信(使1:11-26) | △聖日2部礼拝/神殿建築献身礼拝  幕屋の実際を建築せよ(使2:1-4) |
| 私たちがこの時代を開く主役なので「黙想時代-24」の時刻表を一人で持つべき。  □序論\_神様が与えられたこと  1.使1:3(40日)(過去)弟子は力と水準、すべてが過去そのままある。40日は、心配せずに、これをみな捨てろという時間だ。神様のものすごい力を知らないで自分の水準に捕えられているので、イエスが40日間ずっと説明されたのだ。「今こそ、イスラエルのために国を再興してくださるのですか。」と尋ねたとき「あなたがたは知らなくてもよいのです。」「待ちなさい」と言われた。  2.使2:1-13神様のことでしたので、この働きが起こったのだ。カルバリの丘、オリーブ山、マルコの屋上の間の契約を私たちに成就してくださいと祈れば必ず答えが出てくる。最も大きな答えが「私が今、間違って考えているのだな」ということを知るようになることだ。  3.使2:42このときから、礼拝になり始めて、恵みを受けるようになって私たちに骨を折らせる人のために祈ることができる祝福を受ける。人々は、自分の意見が正しいと考えるが、私たちは神様のみことばを信じる祝福を受けた。  4.使2:46-47いよいよ毎日神殿で、家で、すなわち、講壇と教会、家、現場でみことばが成就する。  △ピリ4:6-7すべては私たちの考えと心が問題だということだ。神様が私たちを守ってくださるので、今日の礼拝がとても重要だ。後には「常時祈り」が続けて成り立てば「24・25・00」になるようになる。  □本論  1.サタン  サタンは今でも私たちの心、考えを掌握している。ここにだまされてはならない。  2.黙想(時代)  1)祭壇-どこでも隠れた祭壇を築き始めなさい。産業、生活が本当に生かされる。聖霊の満たしを先に受けてこそ、霊的な状態が変わって、からだも生かされる。そして他の人を生かす力が出てくるようになる。  2) 12 – 12のサタンの戦略から完全に解放される黙想だ。  3)御座、時空超越、237 -ものすごい御座の力で産業と職業が世界化されて、時空超越を味わって、私たちの学業、産業、職業、すべての生活は237になる。  3.深い時間  祈りの深い時間を持ちなさい。私たちと世界を生かす深い時間が、少なくとも一日に5分以上はなければならない。これが次世代にまで伝えられなければならない。  □結論\_ 10分  礼拝をささげるとき、深い祈りの中に入りなさい。毎日10分だけ「みことば」を握って「祈り」をしてもかまわない。10分の間だけ集中して「呼吸」すれば、からだと心、考え、霊を生かすようになる。 | □序論\_信じる人々の壁を越える契約  1.信じる人々の壁-天国は私のことなのに私は乞食だ。  1)この壁を越えることができなくて奴隷、捕虜、属国なって行ったイスラエル  2)３団体掌握、３団体に仕えるすべての企業家、霊的問題が来る人々、増加するカルト宗教  3)私を生かす霊的世界に関心がないから私を維持できない。  4)生活が苦しくて、もがいてみたらイスカリオテ・ユダ、ユダヤ人の水準  2.完全な答え(使1章) -この祝福は信仰で受けること  1)使1:1キリストがすべての問題を終わらせた。  2)使1:3完全に別世界である神の国のことを40日間説明  3)使1:8方法はただ聖霊。「神様、私に御座の力、キリストの力、聖霊の力を与えてください」”  3.来る答え  1)答えを受けることはできない座にいて、間違った祈りをしていることを悟った。  2)祈りが変わった。「ここで神の国が成し遂げられますように」  3)オリーブ山の契約を悟ることができ、信じられるようになり始めた。心の目が開かれて、世界福音化の土台になることが始まった。  □本論\_本当に答え受ける契約を握りなさい  1.私の運命を完全に変える霊的世界-三つの祭り回復  1)過越祭-救い(カルバリの丘)  2)五旬節-私と他の人を生かす御座の力(オリーブ山)  3)仮庵祭-御座の背景(マルコの屋上の間)  △神の子どもという権威で、信仰で祈れるように神様が与えてくださった。  2.隠れた私の霊的背景を完全に変える霊的世界-三つの事件  1)復活-今でも生きておられ、その御名で祈れば答えられる。  2)昇天-そうでなければ、再臨の主として来ることはできない。  3)再臨-再臨の主として来られて、すべてをさばいて、天国または地獄へ  3.順序を正しくする霊的世界-聖霊の満たしの約束  1)聖霊の働き、御座の力が臨めば目に見えない環境が変わって、暗やみの勢力が崩れ始める。  2)主の聖霊が私に働かれるように祈れば、私のからだにも変化が起こる。  3)神様は霊で、私は霊的存在であるから、これからならなければならない(ヨハ4:24)  (1)創1:27私たちの中のいのち回復　　(2)3･9･3回復  (3)マタ6:33まず神の国とその義とを求めなさい  △霊的な力を受けて待てば、正確に答えが来る。  □結論  1.苦しいことが来るたびに覚えよう-Nobody、Nothingから始める  2.御座の力を無限に味わって、人を生かさなければならないので、その中に行かなければならない。  3.神の子どもならば、誰でも信仰で行くことができる。祈りで味わうのだ。 | 「五旬節の日になって」五旬節の日、聖霊の働きが特に起こったと考えてはならない。聖霊の働きは、本来あった。いつ、なぜ起こったかだ。今から実験してみなさい。信仰によっていつもこの祈りをしてみなさい   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 3･9･3-三位一体の神様が私に臨まれるように祈れば、御座の力は臨むようになって、これが伝えられる | | | | みことば(契約)が  現れる | 幕屋、神殿、教会の流れが見える(礼拝) | 空前絶後の答えが  見える | | 御座の祝福が臨む | 時空超越の  答えが来る | 237につながる | | プラットフォーム  (人が生かされる) | 光を放つ見張り台  (この祝福を職業に  移すこと) | 疎通する  アンテナ |   □序論\_神殿建築礼拝(理由)  1.強大国- 「神殿偶像」(暗やみ文化を変えるべき)  2.サタンが使う12の戦略(人を生かすいやすことができる神殿)  3.ダビデ(全世界を変える神殿建築を一生祈り)  □本論\_三位一体神様の働き、御座の力、3時代の答えはいつ起こるのか  1.福音が預言されるとき(出3:18)  1)10の奇跡(過越祭) 　2)荒野で起こった力(五旬節)  3)カナンに行って起こった証拠(仮庵祭)  △福音が入っていない237、5千種族に福音が入る神殿になりますように  2.福音があかしされるとき(カルバリの丘、オリーブ山、マルコの屋上の間)  1)使2:1-4五旬節の日になって　2)使8:29聖霊がピリポに  3)使10:19聖霊がコルネリオに　4)使11:28聖霊がアガボに  5)使13:2、4主の聖霊がこと、人、場所を知らせられた  6)使16:6主の聖霊がマケドニヤへ  △霊的な答えを与える教会を作りますように  3.福音で未来のあかしを準備するとき、力で働かれる  1)黙2:1七つの星を握って燭台の間を通うキリスト  2)黙2:8はじめで、終わりである復活されたキリストがみことばを与えられる  3)黙2:12両刃の剣を持った方が言われる  4)黙2:18燃える炎のような目、しんちゅうのような足で教会を治めるキリスト  5)黙3:1七つの星を握って教会を治めるキリスト  6)黙3:7ダビデの鍵を持つ方が  7)黙3:14創造の根本である方が言われる  △未来を生かす教会を作りますように  □結論\_祈り  1.RT-朝の時間だけ持ってもかまわない。  2.24-重職者、信徒  1)朝-答え(講壇)　 2)昼-出会い　3)夜-神殿建築集中祈り  3.機会-光の経済回復、237・いやし・サミットする機会、私の職業が237に用いられる三つの庭を作ることができる機会 |